

単元名 歌詞の内容や曲想の変化を味わって【旧】

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と形式や歌詞との関わりについて理解するとともに、音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などを身に付けることができる。
- (2) 曲想と形式や歌詞との関わりについての知識や、音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などの技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる
- (3) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

12260105_001

【教材名】花 荒城の月 指揮をしてみよう (下 P.4～P.9)

【準備等】範唱音源

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「花」の歌詞の内容を理解し、それぞれの声部の旋律を歌う。</p> <p>★どんな情景を歌っているのかイメージして歌おう。</p> <p>歌詞を朗読し、情景を話し合う。</p> <p>○歌詞の内容を確認し、雰囲気や曲想を感じ取って歌う。</p> <p>2 歌詞の内容や、曲想を生かした表現を工夫する。</p> <p>○歌詞の内容と音楽の関係をとらえ、曲想を生かした表現を工夫する。</p> <p>★歌詞の内容や、曲想を生かした表現を工夫しよう。</p> <p>3 「荒城の月」の歌詞の内容を理解し、七五調の歌詞と旋律とのかかわりを考える。</p> <p>○範唱を聴く。</p> <p>★歌詞の特徴を生かして「荒城の月」を歌おう。</p> <p>○歌詞を朗読し、七五調の歌詞のまとまりと、旋律との関わりを感じ取り、表現を工夫する。</p> <p>4 原曲と補作編曲との違いを理解し、それぞれの曲想を感じ取って歌う。</p> <p>○山田耕筈の補作編曲を参照し、音や音符、強弱の設定の違いを確認する。</p> <p>★曲想の違いを感じ取って歌おう。</p> <p>○原曲と補作編曲との曲想の違いを感じ取って歌う。</p> <p>○「花」「荒城の月」の指揮をする。</p>	<p>・日本歌曲の名曲であることを理解させる。</p> <p>・歌詞を音読し、情景をイメージさせる。</p> <p>・1番と2・3番の旋律やリズムの違いを感じ取らせる。</p> <p>・声部を決めて二部合唱させる。</p> <p>【評】歌詞の内容を確認し、イメージをふくらませて歌唱する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・楽曲の形式をとらえ、それぞれの表現を工夫させる。</p> <p>・速度や強弱の設定と、声部の役割について考えさせる。</p> <p>・声部の役割や形式、テクスチュアを生かして二部合唱させる。</p> <p>【評】歌詞の内容や曲想に合わせた表現を工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・範唱を聴いて、楽曲のイメージをつかむ。</p> <p>・歌詞を朗読し、歌詞の内容や表している情景を想像させる。</p> <p>【評】歌詞の内容を確認し、七五調の歌詞と旋律の関わりを考え歌唱する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・原曲と補作編曲の違いを理解させる。</p> <p>【評】原曲と補作編曲との曲想の違いを感じ取って歌う活動を通して、「技能」を評価する</p> <p>・強弱やフレーズに気を付けながら、それぞれの曲にあった指揮を考えさせる。</p> <p>【評】曲にあった指揮の表現をする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【備 考】

歌詞の内容、楽曲全体の構成と曲想との関わりを意識しながら表現させる。「花」では、声部や伴奏の役割を確認し、拍子や強弱などが生み出す雰囲気を味わわせながら、二部合唱で表現を工夫させる。「荒城の月」では、七五調の歌詞と旋律との関係を知覚して、二部形式を感受しながら表現を工夫させる。

【共通事項】音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式